

'89春闘に勝利しよう!

リクルート・消費税の反動 竹下自民党内閣を打倒しよう

動労総連合の'89春闘要求!

- 1989年4月1日以降の基準内賃金を38000円の原資をもって引き上げること。
- 配分については、基本給を重点にして、各種手当の改善を行うこと。
- 次の制度を改訂すること。
 - (1) 第2基本給制度は、廃止すること。
 - (2) 60才定年制度を完全実施すること。
 - (3) 労災、通災および私傷病の欠勤については、会社責任で生活給を保障する制度を確立すること。
 - (4) 割増賃金について、率の引き上げをはかること。
 - (5) 労働時間の短縮を行うこと。
 - (6) 鉄道乗車証を交付すること。(貨物)
- 清算事業団に強制配属した組合員についても、他の職員と同様に定期昇給を実施すること。

動労総連合は、三月二〇日、賃金引き上げに関する要求を申し入れた。申し入れ書の内容(要旨)は、以下(及び左記)のとおり。

動労総連合は、一九八九年二月、全組合員を対象に生活実態と賃金引き上げ要求の調査を実施した。調査結果によれば、昨年の同期に比較して「苦しくなっている」

と生活苦を訴えた組合員は七五%に達している。

現在の生活で、「賃金が高いこと」「消費税による家計の心配」の順に困っていると訴え、家計のやり繰り切りのつめは「本人、家族の小づかい」「月賦、借金」「貯金」「食費」等の順であり、会社からの賃金だけでは生活が困難なため「妻の収

入」等によって家計のやりくりをしていると答えた組合員は八四%にも達している。

また、調査によると組合員の賃金引き上げ要求額は、三八八二三円となっている。これは組合員家族が生活を維持していくぎりぎりの要求であると考える。

当局は、この組合員の「切実な要求」に誠意ある回答を示すよう強く申

し入れる。

低迷を打ち破れ!

ここ数年来、賃上げ春闘は、全くの低額におさえ込まれている。また、昨年初の「連合春闘」も見るも無残であった。「

好景気」のうらでは、帝の危機が進行しているのだ。こうした攻撃を打ち破るためにストライキをもって起ち上がる!

●対談集「敵より一日長く」

出版記念パーティー

用かかれる。

三月二十日、江戸川区グリーンパレスで、対談集「敵より一日長く」の出版記念パーティーが開催された。パーティーには、六本木前国労委員長をはじめ、執筆者の方々が一同に会し、参加した組合員は感激。意義ある一日となった。



一同に会した執筆者
(3/20 江戸川グリーンパレス)

38,000円
要求